

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			簡易点検
事務事業名	自動車公害対策事業			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	環境	局	環境保全	部	環境対策
				課	評価責任者(課長名)
					是常

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	5	持続可能な環境共生都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	循環型社会推進と自然環境の保全・再生	無
	2	事業開始年度	平成 4 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法(自動車Nox・PM法)			
	4	関連計画	第2次堺市環境基本計画、第2次堺市環境モデル都市行動計画、自動車Nox・PM総量削減計画(大阪府)			
5	事業実施の経緯	自動車は日常生活や経済活動に必要な不可欠な交通手段となっているが、環境負荷が大きく、窒素酸化物や粒子状物質等による大気汚染が問題となっていた。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	市民及び市内の事業所			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	大阪府が作成した自動車Nox・PM総量削減計画に基づき、市民、事業者が、自動車排出ガス中のNO2等の削減に効果のある「エコドライブ」を自主的に取組むよう、普及・啓発を行う。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	市民や事業所に対し、環境の影響に配慮したエコドライブの普及・促進に取組む。また、大阪府、大阪市等関連機関と連携して自動車環境対策を推進する。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 大阪自動車環境対策推進会議				

Ⅲ. 投入量

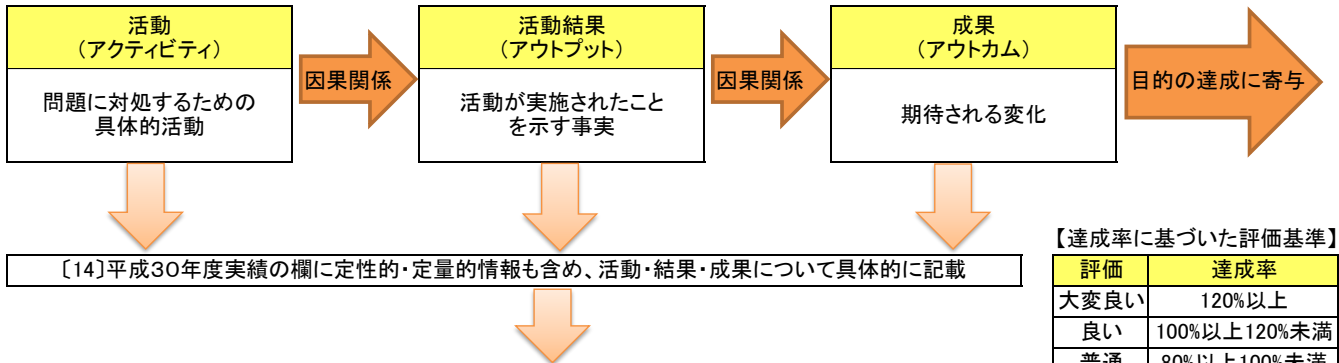
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	610	646	323	473	
	主な事業費内訳	負担金	千円	500	250	250	250
		備品購入費	千円	0	293	0	0
		旅費	千円	56	17	17	55
		需用費	千円	54	80	56	98
		国・府支出金	千円	0	0	0	0
	財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	0	0	0	0
		市債	千円	0	0	0	0
		その他()	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	610	646	323	473
	12 人件費 (b)	千円	20,500	20,500	20,500	20,250	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	21,110	21,146	20,823	20,723		

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	自動車公害対策事業	シート番号	10-20
-------	-----------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>自動車排出ガス中のNO2等の削減に効果のある「エコドライブ」の普及のため、事業所向けのエコドライブ講習会を2事業所において3回実施、延べ27人が受講し、市民向けの講習会も「東区民まつり、美原区民まつり、南区民まつり」において実施し、延べ178人の受講があった。受講者数は、前年度比で半数近く減少したものの、これまで継続した普及啓発の取り組みを実施していることから自動車排出ガス中のNO2等の削減に一定の効果が期待できる事業である。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		エコドライブ普及啓発人数	人	目標値	433	313	439	300
				実績値	313	439	205	
				達成率	72%	140%	47%	
	評価	少し悪い		大変良い	悪い			
	算出方法・設定根拠など		エコドライブ講習会及び関連セミナー参加者数を根拠として設定					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			人	目標値				
				実績値				
				達成率				
	評価							
	算出方法・設定根拠など							

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
17	<p>目標を達成できなかった要因については、区民まつり開催時の悪天候や、平成30年9月の大型台風被害の影響もあり、受講者数が減少したものと分析する。</p> <p>近年、自動車メーカーによる環境性能の高い車両の開発や、アイドリングストップ等のエコドライブシステムが標準で装着された車両の普及が進んでいることから、車両を有する事業者に向けての普及啓発を重点に実施していく。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。